

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	壬生町		代表者名	小菅一弥	
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	総務部総合政策課	連絡先電話番号	0282-81-1814
担当者役職	主査	担当者氏名	梁島頌	連絡先E-mail	
住所	321-0292 栃木県壬生町大字壬生甲3841-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名(予定)	情報化推進とセキュリティ向上
概要	クラウドサービスの活用等による住民の利便性向上と職員の業務改善・効率化を図っていますが、一方でセキュリティ向上と利便性向上の両方の実現という点について主にセキュリティに関する課題があるため、専門知識を持ったアドバイザーにご助言等をいただきたいと思いますと考えております。		
支援を求める分野	人材(DXに関する知識習得・研修・育成) 自治体セキュリティ		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年11月25日	講演(実地)	13時00分	15時30分	
				活動時間(分)	150
2-2. 派遣場所	会場名	壬生町役場本庁舎	最寄駅	国谷駅	
	所在地	栃木県下都賀郡壬生町大字壬生甲3841-1	最寄駅からの交通手段	巡回バス	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高橋 邦夫
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	○セキュリティだけでなく、今後の人材育成・採用、働き方の見直し等、当庁に足りないものについてヒアリングを行っていただきながら、講演要素として取り入れていただきました。 ○ただ、自治体のDXの内容を講演するのではなく、なぜ必要か、今後どうなるのか、当庁はどうなるのかを分析いただこうえとお話いただけました。
アドバイザーへの要望事項	特にありません

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	66人
	属性	企業・団体	その他(学生など)
	自治体職員	企業・団体	その他(学生など)
	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	66	

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	セキュリティポリシーについては定期的な更新を図っているものの、職員に浸透しきれていない。また、業務実施方法において現行のポリシーの遵守が難しい場合等の対応方法も全庁的に浸透しきれていないことに加え、今後クラウドサービス等を利用するにあたってセキュリティリスクが高まる恐れがあり、住民サービスのデジタル化を図るうえで障害となる。
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	住民の方が安心して外部サービス利用による行政サービスを利用できる環境構築、セキュリティ順守や更新意識等について庁内職員意識の統一を図りたい。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	主に管理職以上向けの講演を実施していただいた。 内容的には「フロントヤード改革」「データ利活用の増加」「働き方改革」などの具体的な取り組み事例を紹介いただきながら、セキュリティの理解の必要性やセキュリティポリシーのようなルールと各課職員の意向・実情の乖離を管理職の立場・一般職員の立場それぞれでどう解消していくかを解説いただいた。			
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	○講演後、町長と住民福祉部長にて、既存ツールでのオンライン手続き促進、窓口改革状況、今後の推進について話し合いの機会が設けられた。 ○情報デジタル係への業務改善やデジタル活用の相談が増加した。			
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	<input type="checkbox"/> ⑤組織業務改善ができた		
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	○セキュリティポリシーの改定及び、ルール=守るもの だけでなく ルール=更新するもの というマインドセットを職員に行った。 ○変革・改革の先に何を掲げるか、何を目的として行うのかを、改めて具体化して全庁的に統一し例えば、手続きのオンライン化についても、オンライン化するにあたり保存文書の保管先のフォルダや規則をどうするかなどの各項目の具体的な課題や、全庁的にどうしていくべきか等のビジョンの共有については、今回の講演をきっかけとし、トップや管理職含め話し合う機会を作っていきたい。			
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別途添付いたします。			
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	<input type="checkbox"/> ④予算以外で、今後取組む事項がある トップや管理職等が主体となりビジョンを統一する機会を設ける		
4-4. 事業の最終的な目指す姿	住民の方が安心して外部サービス利用による行政サービスを利用できる環境構築、セキュリティ順守や更新意識等について庁内職員意識の統一			
5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可 <table border="1" data-bbox="137 1081 758 1115"> <tr> <td data-bbox="137 1081 295 1115">掲載許可</td> <td data-bbox="295 1081 758 1115"><input type="radio"/> 掲載可</td> </tr> </table> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/ </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px; color: red;"> <p>なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい</p> </div>			掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可			
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子 今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。				
Empty space for pasting photos				